

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

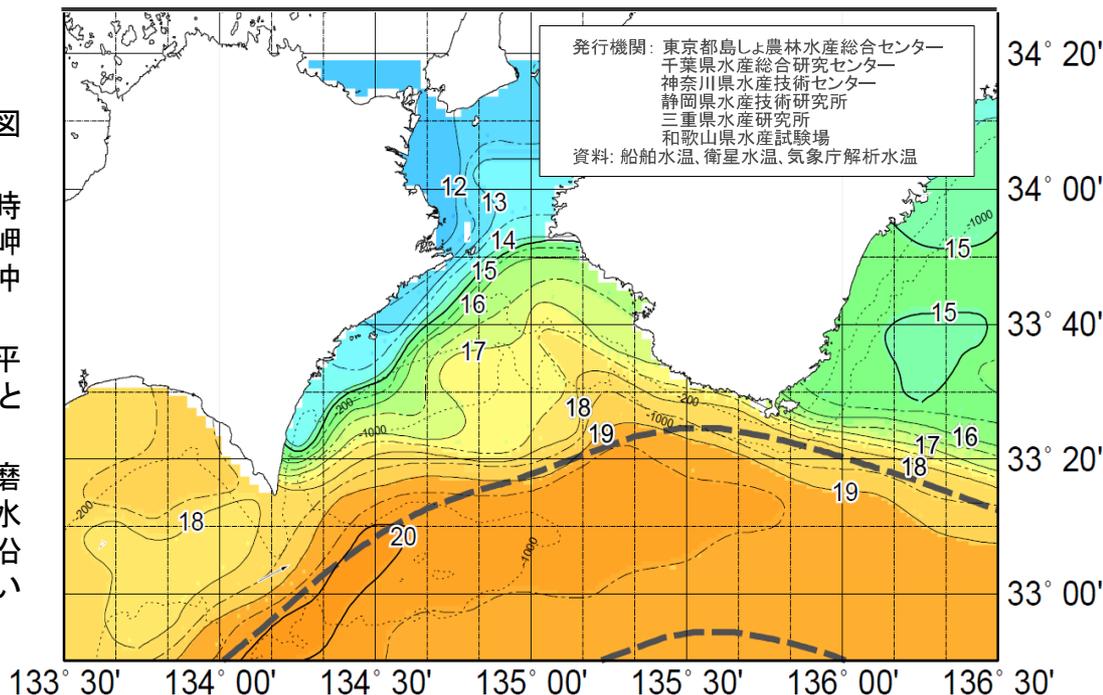
1. 周辺海域の水温

右に3月21日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、前回7日時点から大きく変わらず室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「接岸」で推移した。

黒潮本流の表面水温は平年並みの19℃～20℃台となっている。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で10℃～11℃台、紀伊水道で11℃～12℃台、海部沿岸で12℃～13℃台となっている。



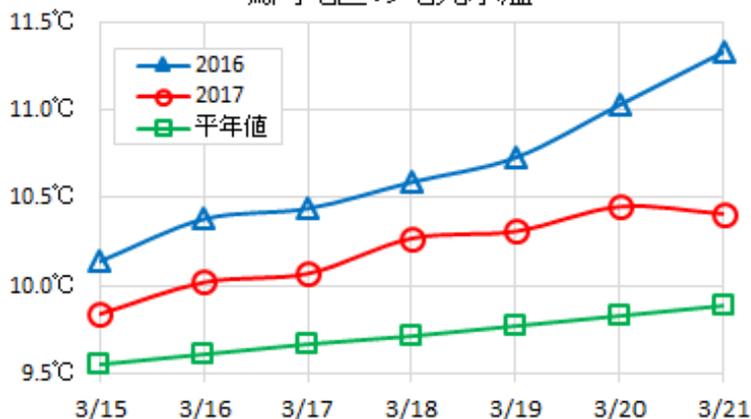
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(3月15日～3月21日)

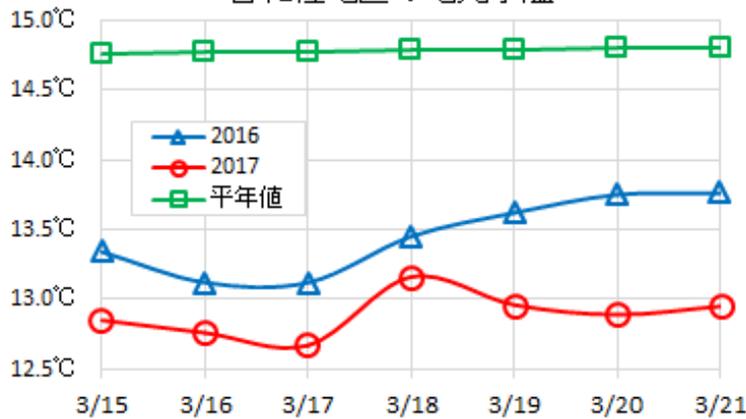
鳴門地区の地先水温は、「平年並み」～「やや高め」の10.0℃～10.5℃で、右肩上がり推移した。

日和佐地区の地先水温は、17日と18日の間に0.5℃の上昇が見られたがその他はほぼ横ばいで、「低め」の12.7℃～13.2℃で推移した。

鳴門地区の地先水温



日和佐地区の地先水温



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(3月22日～3月28日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の10℃台後半、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の13℃台で推移する見込み。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

延縄以外の漁業種類で水揚げが減り、全体の水揚げは減った。

釣りでは、タチウオが大きく減って0.3ト、ブリがハマチ主体に大きく増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが増えて特大主体に3.1ト、マサバが大主体に0.5ト、ゴマサバが大主体に0.3ト、マアジが大主体に0.3ト、ブリがめじろ主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく減って0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

大型定置網のゴマサバの水揚げが減少したので、全体の水揚げは前週と比べると大きく減ったが前々週並みの水準。

釣りでは、タチウオが増えて1.0ト、ブリがめじろ主体に前週並みの0.3ト水揚げされた。

延縄では、いとより類が大主体に前週並みの0.6ト、キダイが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが減って0.4ト、スルメイカが前週並みの0.2ト水揚げされた。

大型定置網では、ゴマサバが大きく減って大主体に2.4ト、マサバが大主体に1.3ト、スルメイカが小主体に1.9ト、ブリがめじろ主体に1.6ト、イシダイが大主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	10	タチウオ	330	33		↘↘
		8	ブリ	295	37	はまち主体	↗↗
	延縄	70	タチウオ	3,127	45	特大主体	↗
		58	マサバ	512	9	大主体	↗
		52	ゴマサバ	310	6	大主体	↗↗
		47	マアジ	280	6	大主体	↗↗
		18	ブリ	259	14	めじろ主体	↗
		12	ムツ	209	17		↘↘
		26	サワラ	209	8	特大主体	↘
	底びき網	19	コウイカ	428	23		↘↘
海部沿岸	釣り	17	タチウオ	966	57		↗
		25	ブリ	301	12	めじろ主体	→
	延縄	25	いとより類	602	24	大主体	→
		4	メダイ	559	140	大主体	↗
		32	キダイ	200	6	大主体	↘↘
	小型定置網	8	カタクチイワシ	428	53		↘
		21	スルメイカ	233	11		→
	大型定置網	9	ゴマサバ	2,415	268	大主体	↘↘
			スルメイカ	1,944	216	小主体	↗
			ブリ	1,633	181	めじろ主体	↗
マサバ			1,302	145	大主体	↘↘	
イシダイ			556	62	大主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘